

次代の建築士・空間デザイナーへと 文理の区別なく多様な人材を育成

大阪電気通信大学／建築・デザイン学部(仮称・構想中) Osaka Electro-Communication University

実績ある既存の建築学科を さらに進化させ、新学部へ

強みであるICT教育を軸に、実社会で役立つ力を育てる「実学教育」を展開する大阪電気通信大学。その成果は高い就職実績にあらわれ、「採用を増やしたい大学」「本来に就職に強い大学」などのランキングでの上位獲得にも繋がっている。

2018年に工学部に設置した建築学科においても、デジタル化が進む建築業界に対応した実践的なICT教育と、建築士を中心とした資格取得にも直結する実学教育に力を注ぎ、ゼネコンや設計事務所などに多くの人材を輩出してきた。文部科学省が実施する2021年度「デジタルと専門分野の掛け合わせ」による産業DXをけん引する高

度専門人材育成事業」の選定を受け、最新ICT技術を活用したさまざまな産官学協働プロジェクトも積極的に推進。業界や自治体と強い結びつきを保ちながら常に「これからの社会に必要な人材像」を探り、その答えに結びつく教育を実践し続けてきた。同大学はこの建築学科をさらに進化・発展させた「建築・デザイン学部(仮称・構想中)」の開設を2024年4月に予定している。

それぞれ固有の職能を持つ 多様な人材が必要な時代に

新学部がめざすのは「多様な人材」の育成。その背景には、今まさに転換期を迎えつつある建築業界の人材要件がある。

建築士資格を取得するには、計

画・環境・法規・構造・施工など多岐にわたる専門知識が必要とされるが、実際の建築業界の仕事ではそれぞれの専門領域において突出した能力を持つ人たちがチームを組んでプロジェクトに臨むケースが多い。さらに業務のICT化が進んだことでチーム内のメンバー同士の情報共有や進捗管理がしやすくなり、こうした分業化はますます進むと考えられる。必ずしもオールラウンダーが求められるのではなく、むしろあまり他の人が持っていない固有の職能に優れた人材が重宝されるというわけだ。

またCG(コンピュータグラフィックス)技術の進化によって図面が読めない施主とも建物の完成イメージを簡単に共有できるようになったこともあって、「ユーザー視点を大切にしたい設計」がより重視される傾向が

▶ 建築専攻



先進のデジタル技術で業界をリードする次代の一級・二級建築士をめざす

建築技術に関する知識・技能の修得により、社会に貢献できる建築家・建築技術者を育成します。3DCADを用いた製図や、建設関連企業で導入が進むBIM(Building Information Modeling)などの最先端技術に至るまで、幅広い学修を展開。一級・二級建築士受験資格に必要なカリキュラムも充実しています。

▶ 空間デザイン専攻



豊かな表現力とデジタル技術を駆使しインテリアから仮想空間まで創造

都市・建築・インテリアなど、人間を取り巻くあらゆる空間のデザインを学びます。現実空間だけでなく、デジタル技術(VR、AR)によって構築された情報空間やメタバースなどの仮想空間までデザインできる、幅広い知識と技術を備えたクリエイターや技術者を育成。一級・二級建築士受験資格の取得も可能なカリキュラムを用意します。

入試情報

文系科目による入試を実施予定!

既存の工学部建築学科を発展させ、2024年4月に新しく建築・デザイン学部(仮称・構想中)を設置予定の大阪電気通信大学。時代の変化を先取した、新学部のめざす実学教育に迫る。

取材・文/辻信哉

※ 設置される学部・学科等の名称・内容などは予定につき、変更される場合があります。

採用を増やしたい大学

全国私大 **第1位** (全国第4位)

※日経キャリアマガジン特別編集「価値ある大学2023年版」(日経HR 2022年6月発行)

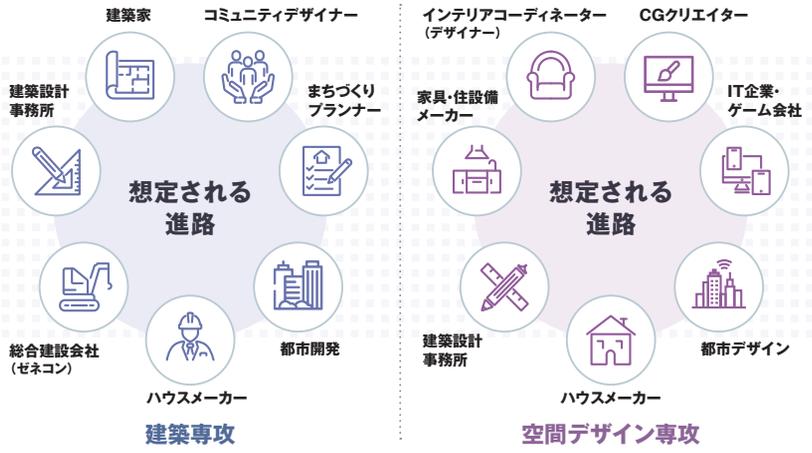
企業からの評価が高い大阪電通大

本当に就職に強い大学

関西圏私大 **第3位**

※東洋経済オンライン「本当に就職に強い大学」ランキングトップ150(2022年5月23日配信)

2つの専攻で **建築からCGクリエイターまで**
多彩なフィールドで活躍できる



さらに建築分野での学びの多様性を追求する環境として「建築専攻」「空間デザイン専攻」の2つの専攻を設置。DX化が加速する業界に対応した最新ICT技術の習得や建築士資格の取得がめざせるだけでなく、インテリア、都市計画から仮想空間に至るまで、従来の建築の概念に捉われない幅広い意味での空間づくりを、さまざまな角度から学ぶことができる。

同大学の総合情報学部では、多く

強まっている。例えば住空間の設計ならそこで暮らす人のライフスタイルや文化を理解する力、商空間ならマーケティングなどのビジネス知識やその土地の歴史や慣習についての知識などが重要。つまり文系と言われる学問分野の知識や考え方を持つ人材に、これからの建築業界での活躍のチャンスが広がっていると云える。

総合情報学部での知見も
生かした多様な学びを展開

しかし一般的には「建築＝理系」というイメージが強く、建築系の学部・学科は文系学生に敬遠されがちだ。そこで大阪電気通信大学は、新学部において「文系入試」の実施を予定。業界が求める多様な人材の育成に向け、文系学生が志望しやすい受け入れ体制を築く。

Information

大阪電気通信大学



教育理念は、「人間力」と「技術力」を育み、自らの力で人生を切り拓いていける実践的な実学教育。AIやIoTの活用が急速に進展し、DXが社会の重要課題となる近年においては、原点でもある情報教育をより一層進展させた新たな実学を追求し、情報・通信・建築・電気電子・機械・環境・医療・スポーツ・ゲームなど、あらゆる学問に先進の情報テクノロジーを取り入れた教育を展開している。

●DATA
 [寝屋川キャンパス] 〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8
 TEL 072-813-7374 (入試部)
 URL <https://www.osakac.ac.jp/>

の文系学生がICT技術やクリエイティブティを身につけ、CGクリエイターやWEBデザイナーへと育っている。そのなかで培われた知見を新学部にも投入。3DCG技術を駆使した空間デザインやプレゼン技法フットグラメトリ、コンピュータ上に再現した都市空間でのシミュレーション、さらにはメタバースなど仮想空間内の建築物の設計デザインと、ICT技術を駆使した建築・空間デザイン

の幅広い学びを、文系学生にもわかりやすく展開する。一方でデッサンなど手描きでの表現力や造形の基礎力を養う授業も充実。また教員陣の専門分野も多様で、それぞれの研究室では地域の歴史をふまえた店舗デザイン、空間デザインにおけるAI(人工知能)活用、データサイエンスを用いた都市計画など、ユニークで多彩な研究テーマと向き合うことができるだろう。

ユーザー視点での設計スキル最新のICT技術、クリエイティブティなど、多様性を求めるこれからの建築業界で発揮できるさまざまな力がつく大阪電気通信大学の新学部。建築・インテリア業界のみならず、空間デザインに強いCGクリエイターとしてIT業界やゲーム業界への就職も視野に入れることができ。文理の垣根を取り払った新しい建築系の学びの場として、この新学部に注目したい。